



新国立劇場オペラ研修所

From London, Milan, Munich & Japan!

世界若手オペラ歌手ガラコンサート

LE PROMESSE 2018

2018年9月16日(日)～9月17日(月・祝)

新国立劇場 オペラ劇場(オペラパレス)

協賛: 

後援: ドイツ連邦共和国大使館、イタリア共和国大使館、ブリティッシュ・カウンシル

「LE PROMESSE (レ・プロメッセ)」とは、イタリア語で「約束された者たち」のことです。新国立劇場はオペラ研修所開所 20 周年を記念して、若手オペラ歌手によるガラコンサートをオペラパレスで開催します。指揮に飯守泰次郎氏を迎え、藝大フィルハーモニアが 2017 年修了公演『コジ・ファン・トゥッテ』以来、新国立劇場に登場します。

若手オペラ歌手として世界から東京・初台に結集するのは、ロンドン、ミラノ、ミュンヘンの著名な歌劇場オペラアカデミーの精鋭たち。そして日本からは、プロ歌手として国内外で活躍する新国立劇場オペラ研修所の修了生、加えて、2016 年に創立された「ANA スカラシップ」による海外研修の成果を携えた現役の研修生たちが登場します。合唱は約 40 名の合唱団です。

世界のオペラの未来を担う個性あふれる若手歌手による、芸術性と感性に満ちたエネルギッシュな歌唱の世界をどうぞお楽しみください。

『ANA スカラシップ』とは

全日本空輸株式会社と新国立劇場によって 2016 年 4 月に創設された、未来のオペラ界を背負う若者を応援する為の制度です。

新国立劇場オペラ研修所では、将来のキャリアに繋がるオペラ発祥の地・欧州などでの海外研修の充実が非常に重要な課題となっています。

ANA は『努力と挑戦』を日々積み重ね、『世界のリーディングエアライングループ』の実現を目指し、『世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来へ貢献する』というグループ経営理念を掲げています。世界に挑戦するオペラ研修生の思い、その研修生を支える新国立劇場の支援制度に共感するとともに、文化・芸術の発展に寄与する為、『ANA スカラシップ』を通してオペラ研修生の海外研修を中心にサポートし、研修生達は本公演でその成果をご披露します。本制度は 2018 年 4 月に新国立劇場バレエ研修所にも拡充されました。



■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 広報室 広報第一係

Tel: 03-5352-5781 / Fax: 03-5352-5784

■新国立劇場 オペラ研修所ホームページ

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/training/>



公演概要

指揮：飯守泰次郎
 管弦楽：藝大フィルハーモニア管弦楽団
 合唱：新国立劇場合唱団

出演：新国立劇場オペラ研修所第19期生、第20期生、第21期生 (p7参照)

賛助出演：安藤赴美子(第3期修了)、清水華澄(第4期修了)、城 宏憲(第10期修了)、梶 貴志(第5期修了)
 マイケル・モフィディアン、パトリック・テリー(ロンドン・ジェットパーカー・ヤングアーティストプログラム)
 サラ・ロッシーニ、アンナ・ドリス・カピテッリ(ミラノ・スカラ座アカデミー)
 張 龍(チャン・ロン)、セレーネ・ザネッティ(ミュンヘン・バイエルン州立歌劇場研修所)

主催：新国立劇場
 協賛：全日本空輸株式会社
 後援：ドイツ連邦共和国大使館、イタリア共和国大使館、ブリティッシュ・カウンシル

オペラ研修所長：永井和子



会場：新国立劇場 オペラ劇場 (オペラパレス)

日程：2018年9月16日(日) 17:00
 9月17日(月・祝) 14:00 ※託児サービス利用可
 ※予定上演時間：約2時間30分(休憩含む)
 ※上演時間は変更になる場合があります。
 ※開場は開演の30分前です。開演後のご入場は制限させていただく場合がございます。

料金：S席 5,400円 A席 4,320円 Z席 1,620円

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。お子様も1人1枚チケットをお求めください。
 ※壁際、手摺の近く、バルコニー、上層階の一部のお座席で、舞台が見えにくい場合がございます。ご了承ください。
 ※公演日、席種によっては、お求めになれないことがあります。
 ※公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。
 ※やむをえない事情により出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

《Z席》

※Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。
 ※公演当日朝10:00から新国立劇場ボックスオフィス窓口にて販売いたします。1人1枚、電話予約はできません。

チケット：新国立劇場ボックスオフィス / Webボックスオフィス

03-5352-9999 / <http://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ【Pコード：118-630】

0570-02-9999 / <http://pia.jp/t>

前売開始：アトレ会員先行販売期間 2018年7月26日(木)～8月4日(土)
 一般発売日 2018年8月6日(月) 10:00～

プログラム

1. R.ワーグナー『タンホイザー』より「この聖なる殿堂には」
新国立劇場オペラ研修所研修生、新国立劇場合唱団
2. G.ヴェルディ『シモン・ボッカネグラ』より「このほの暗い夜明けに」
サラ・ロッシーニ（ミラノ）
3. G.ドニゼッティ『ルチア』より「我が祖先の墓よ～やがてこの世に別れを告げよう」
城 宏憲（第10期修了）
4. S.ラフマニノフ『アレコ』より「みんな寝ている」
マイケル・モフィディアン（ロンドン）
5. G.プッチーニ『ラ・ボエーム』より「冷たき手を」
張 龍（チャン・ロン）（ミュンヘン）
6. G.プッチーニ『ラ・ボエーム』より「私の名はミミ」
セレーネ・ザネッティ（ミュンヘン）
7. F.チレア『アドリアーナ・ルクヴール』より「苦しみの快樂」
清水華澄（第4期修了）
8. V.ベッリーニ『ノルマ』より「ご覧ください、ノルマ様」
サラ・ロッシーニ、アンナ・ドリス・カピテッリ（ミラノ）
9. A.ドヴォルザーク『ルサルカ』より「月に寄せる歌」
安藤赴美子（第3期修了）
10. G.プッチーニ『トスカ』より「テ・デウム」
梶 貴志（第5期修了）、新国立劇場オペラ研修所研修生、新国立劇場合唱団
- 11-A G.ヘンデル『リナルド』より「風よ、竜巻よ」（※16日のみ）
パトリック・テリー（ロンドン）
- 11-B G.ロッシーニ『タンクレディ』より「大いなる不安と苦しみの後で」（※17日のみ）
パトリック・テリー（ロンドン）
12. G.ビゼー『カルメン』より「一仕事思いついたんだ」
清水華澄、新国立劇場オペラ研修所研修生
13. C.F.グノー『ファウスト』より「清らかな住家」
張 龍（チャン・ロン）（ミュンヘン）
14. G.ロッシーニ『チェネレントラ』より「悲しみと涙に生まれ育ち」
アンナ・ドリス・カピテッリ（ミラノ）、新国立劇場合唱団、オペラ研修所研修生
15. G.ヴェルディ『ドン・カルロ』より「友情の二重唱」
城 宏憲、梶 貴志、新国立劇場オペラ研修所研修生、新国立劇場合唱団
16. C.M.v.ウェーバー『魔弾の射手』より「すぐに眠れたものなのに」
セレーネ・ザネッティ（ミュンヘン・バイエルン州立歌劇場オペラ研修所）
17. W.A.モーツァルト『コジ・ファン・トゥッテ』より「厚かましい娘ね」
マイケル・モフィディアン（ロンドン）、安藤赴美子、オペラ研修所研修生
18. G.ヴェルディ『ファルスタッフ』より「世の中すべて冗談だ」
出演者全員

※都合により、内容等変更になる場合がございます。詳細な情報はウェブサイトをご覧ください。

【配役】

タンホイザー

オペラ研修所研修生第19期生・第20期生・第21期生

トスカ

	9月16日・17日共通
スポレッタ	増田貴寛 (第21期)
男声合唱	伊良波 良真、荏原孝弥、高橋正尚、水野 優 (第19期) 濱松孝行、野町知弘 (第20期)、井上大聞、仲田尋一 (第21期)

カルメン

	9月16日	9月17日
カルメン	清水華澄 (第4期修了)	
フラスキータ	斉藤真歩 (第20期)	
メルセデス	一條翠葉 (第20期)	
レメンダード	水野 優 (第19期)	荏原孝弥 (第19期)
ダンカイロ	高橋正尚 (第19期)	

チェネレントラ

	9月16日・17日共通
クロリンダ	井口侑奏 (第21期)
ティーズベ	和田悠花 (第21期)
ダンディーニ	仲田尋一 (第21期)
ドン・マニフィコ	井上大聞 (第21期)
男声合唱	伊良波 良真、荏原孝弥、高橋正尚、水野 優 (第19期) 濱松孝行、野町知弘 (第20期)、増田貴寛 (第21期)

ドン・カルロ

	9月16日・17日共通
修道士	野町知弘 (第20期)
男声合唱	伊良波 良真、荏原孝弥、高橋正尚、水野 優 (第19期) 濱松孝行 (第20期)、井上大聞、仲田尋一、増田貴寛 (第21期)

コジ・ファン・トゥッテ

	9月16日	9月17日
ドン・アルフォンソ	マイケル・モフィディアン	
フィオルディリージ	安藤赴美子 (第3期修了)	
ドラベッラ	十合翔子 (第19期)	
デスピーーナ	平野柚香 (第20期)	
フェルランド	濱松孝行 (第20期)	
グリエルモ	野町知弘 (第20期)	伊良波 良真 (第19期)

ファルスタッフ

	9月16日・17日共通
ファルスタッフ	マイケル・モフィディアン
フォード	榎 貴志 (第5期修了)
フェントン	張 龍 (チャン・ロン)
医師カイウス	城 宏憲 (第10期修了)
バルドルフォ	荏原孝弥 (第19期)
ピストーラ	伊良波 良真 (第19期)
フォード夫人アリーチェ	セレーネ・ザネッティ、安藤赴美子 (第3期修了)
ナンネッタ	サラ・ロッシーニ
クイックリー夫人	アンナ・ドリス・カピテリ、清水華澄 (第4期修了)
ページ夫人メグ	パトリック・テリー
合唱 (ソプラノ I)	斉藤真歩、平野柚香 (第20期)、井口侑奏、和田悠花 (第21期)
合唱 (ソプラノ II)	十合翔子 (第19期)、一條翠葉 (第20期)
合唱 (テノール)	水野 優 (第19期)、濱松孝行 (第20期)、増田貴寛 (第21期)
合唱 (バリトン)	野町知弘 (第20期)、高橋正尚 (第19期)、井上大聞、仲田尋一 (第21期)

出演者プロフィール (オペラ研修所修了生)

安藤 赴美子 (第3期修了生) ソプラノ

ANDO Fumiko



©Shingo Azumaya

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第3期修了。文化庁在外研修員、ローム・ミュージック・ファンデーション在外研修生としてイタリアに留学。これまでに二期会『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『椿姫』ヴィオレッタ、『ドン・カルロ』エリザベッタをはじめ、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作オペラ『椿姫』ヴィオレッタ、『タンホイザー』エリーザベト、韓国セジョン文化会館大劇場とあいちトリエンナーレ『蝶々夫人』タイトルロールなどへの出演で注目を集める。新国立劇場では小劇場オペラ『イタリアのモーツァルト』シーファレ／チェチーリオ、『ルサルカ』第一の森の精、『魔笛』侍女I、『ナブッコ』アナ、『ラインの黄金』フライア、『蝶々夫人』タイトルロールなどに出演している。

清水 華澄 (第4期修了生) メゾソプラノ

SHIMIZU Kasumi



©Takehiro Matsumoto

静岡県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究員として渡伊。新国立劇場『チェネレントラ』ティーズベ、『オテロ』エミーリア、『アンドレア・シェニエ』ベルシ、東京二期会『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントウツァ、『ドン・カルロ』エボリ公女、『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、『ローエングリン』オルトルート、日生劇場『メデア』ゴラ、『ルサルカ』イェジババ等に出演。コンサートソリストとしても、マーラー交響曲第2番「復活」、第8番「千人の交響曲」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、ベートーヴェン「第九」等で活躍。内外の著名な指揮者から信頼される卓越した歌唱と豊かな音楽性で絶賛を博し、NHKニューイヤーオペラコンサートにも出演を重ねている。二期会会員。

城 宏憲 (第10期修了生) テノール

JO Hironori



岐阜県出身。東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡伊。2012年、サイトウ・キネン・フェスティバル松本への出演を機に帰国し、ベートーヴェン「合唱幻想曲」にてソリストデビュー。近年の主な舞台出演は、首都オペラ『トゥーランドット』カラフ(2015)、二期会『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ(2016)、『トスカ』カヴァラドッシ(2017)、『ノルマ』ポリオーネ(2018)等プリモ・テノールの各役。昨年、NHK-E テレ『ららら♪クラシック』、テレビ朝日『題名のない音楽会』にてオペラ・アリアの演奏が放送され各方面より反響を呼ぶ。本年6月にはヨーロッパ・ミュージック・オープン(オラデア)に登場。ブルックナー作曲「テ・デウム」テノールソロで欧州デビューを飾る。

これまでに、第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞(聴衆賞)、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞、平成28年度岐阜県芸術文化奨励賞など受賞多数。二期会会員。

梶 貴志 (第5期修了) バリトン

MASU Takashi



大阪音楽大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。ポローニャ国立音楽院にて研鑽を積む。第37回イタリア声楽コンcorso ミラノ大賞、第13回松方音楽賞及び特賞、第22回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。オペラでは、東京・春・音楽祭『エフゲニー・オネーギン』、佐渡裕プロデュースオペラ『魔笛』、サイトウ・キネン・フェスティバル松本『セビリアの理髪師』フィガロ、東京二期会『メリー・ウィドー』ダニロ、『パリアッチ』トニオ、新国立劇場『カルメン』モラレス、『沈黙』キチジロー、『セビリアの理髪師』フィオレロ、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、『ラ・ボエーム』マルチェッロ等に出演。NHK-FM「名曲リサイタル」「ベスト・オブ・クラシック」、BS プレミアム「クラシック倶楽部～関西を代表する歌手による、ヴェルディ・オペラコンサート」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアにも多数出演。コンサートでもモーツァルト「戴冠式ミサ」、ベートーヴェン「第九」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」などソリストとして活躍。本年9月東京シティ・フィル『スペインの時』(演奏会形式)ラミーロ、19年オペラ夏の祭典『トゥーランドット』ピンで出演予定。二期会会員。

出演者プロフィール(海外の研修所の研修生)

ロンドン・ジェット・パーカー・ヤング・アーティスト・プログラム



©Benjamin Ealovega

マイケル・モフィディアン
Michel MOFIDIAN
(バス・バリトン)



© Kirill Kozlov

パトリック・テリー
Patrick TERRY
(カウンターテナー)

ミラノ・スカラ座アカデミー



サラ・ロッシーニ
Sarah ROSSINI
(ソプラノ)



アンナ・ドリス・カピテッリ
Anna Doris CAPITELLI
(メゾソプラノ)

ミュンヘン・バイエルン州立歌劇場研修所



张 龙 (チャン・ロン)
ZHANG Long
(テノール)



セレーネ・ザネッティ
Selene ZANETTI
(ソプラノ)

出演者プロフィール(オペラ研修所研修生)

※研修生のプロフィールはホームページ上でご覧頂けます。 <http://www.nntt.jac.go.jp/opera/training/young/>

オペラ研修所 第19期生



伊良波 良真
(バリトン)



荏原孝弥
(テノール)



十合翔子
(メゾソプラノ)



高橋正尚
(バリトン)



水野 優
(テノール)

第20期生



一條翠葉
(メゾソプラノ)



斉藤真歩
(ソプラノ)



野町知弘
(バリトン)



濱松孝行
(テノール)



平野柚香
(ソプラノ)

第21期生



井口侑奏
(ソプラノ)



井上大聞
(バリトン)



仲田尋一
(バリトン)



増田貴寛
(テノール)



和田悠花
(ソプラノ)

指揮者・管弦楽プロフィール



指揮：飯守 泰次郎 (IIMORI Taijiro)

1962 年桐朋学園大学音楽科卒、同時に藤原歌劇団公演「修道女アンジェリカ」にてデビューを飾る。1966 年ミトロプーロス国際指揮者コンクール、1969 年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第 4 位入賞。1972 年、芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。これまでに読売日響、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスヘデ市立歌劇団第一指揮者、東京シティ・フィル、名古屋フィル、関西フィルの常任指揮者を歴任。古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動を展開。特に 2000 年から 4 年がかりで東京シティ・フィルと取り組んだワーグナー「ニーベルングの指輪」全 4 作ツィクルス上演では、その功績により 2003 年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。ヨーロッパの歌劇場で積み上げてきたオペラに対する深い造詣、特にワーグナー作品を積極的に日本楽壇へ紹介してきた功績には特筆すべきものがあり、パイロイト元音楽祭総監督 ヴォルフガング・ワーグナーも、「飯守こそドイツ語で Kapellmeister と呼ぶにふさわしく、そこにはマエストロと言う言葉以上に大きな尊敬の念が込められている。」と評した。現在は新国立劇場オペラ部門芸術監督を務め「ニーベルングの指環」を含むワーグナー作品で高い評価を得ている。また、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者および関西フィル桂冠名誉指揮者も務めている。CD 制作に関してはフォンテックレーベルから多数リリース、その演奏の充実ぶりが各誌より絶賛されている。これまでに、2000 年度第 32 回サントリー音楽賞、2004 年 11 月紫綬褒章、2008 年第 43 回大阪市民表彰、2010 年 11 月旭日小綬賞、2012 年度日本芸術院賞、2014 年度第 56 回毎日芸術賞などを受ける。また、2012 年度の文化功労者に選ばれ、2014 年 12 月には日本芸術院会員に選ばれた。2018 年 4 月より仙台フィル常任指揮者に就任した。

管弦楽：藝大フィルハーモニア管弦楽団

藝大フィルハーモニア管弦楽団は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラであり、オーケストラ演奏を専門とする演奏研究員によって組織されている。

主な活動としては、毎年春と秋に開かれる定期演奏会、声楽科との合唱付オーケストラ作品の演奏、オペラ研究部との共演、年度始めの新卒業生(各科最優秀者)紹介演奏がある。その他、年末には恒例のメサイア演奏会、第九公演などを行っている。さらに各地の音楽文化向上のための出張演奏も行っている。

教育面では、器楽科、声楽学生との協奏曲等の共演および作曲科学生の作品演奏(モーニングコンサート)、指揮科学生による演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。中でも 1972 年から開催されている「モーニングコンサート」は、選ばれる学生の質の高さ、オーケストラとの十分な練習時間の設定など、非常に高度な水準を維持しており世界にも類を見ない企画となっている。

このオーケストラの前身である旧東京音楽学校管弦楽団は、わが国初めての本格的なオーケストラであり、交響曲第 5 番「運命」、交響曲第 9 番「合唱付き」(ベートーヴェン)、交響曲第 6 番「悲愴」(チャイコフスキー)などを本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての役割を果たしてきた。

長らく管弦楽研究部(藝大オケ)の名で呼ばれてきたが、学内中心の演奏活動から、より幅広く活動の場を拡げ皆様に親しんでいただくために、1980 年代にカナダから来日していた指揮者ビクター・フェルドブルル氏によって「藝大フィルハーモニア」と命名され、2016 年 11 月より「藝大フィルハーモニア管弦楽団」と名称変更した。

2017 年 4 月に(公社)日本オーケストラ連盟に準会員として加盟し、同年 6 月には「日本・チリ修好 120 周年」を記念して初の海外公演としてチリ公演(4公演)を行い、聴衆を魅了した。

◆ 新国立劇場オペラ研修所について

新国立劇場では、舞台芸術の各分野における優れた人材を育成する研修事業を実施しています。

オペラ研修所は、プロのオペラ歌手を目指している人の研修機関として、平成 10 年(1998 年)4 月に開設され、高倍率の選考試験を突破した才能豊かな 15 名の歌手たちが、3 年間の研修に励んでいます。平成 28 年度に創設された「新国立劇場若手オペラ歌手育成事業支援 ANA スカラシップ」による海外研修や国内外の一流講師陣による歌唱レッスンはもとより、演技や発声法の実践的な演習、諸外国語習得のための授業、オペラ歌手に不可欠な教養を身につけるための多様な研修を行っています。

現在、第 19 期生から第 21 期生までが日々研鑽を積んでいます。修了生は新国立劇場への出演はもちろん、海外歌劇場へのデビューを果たし、国内外のオペラ・カンパニーなどで広く活躍をしています。